

マリンストアニュース

YAMAHA No.23 '81-8-9





免許募集コンクールに
多数のマリンストアさんが参加。

5・6月のヤマハボート免許教室受講生は
順調に集まっています。



“海の仲間をふやそう。”をテーマとした'81ヤマハビッグサマーセールキャンペーンでは、'81モデルを中心とするヤマハボート・ヨットを一層普及させるとともに、マリンストアさんと一体となって、多

くの人々を海の世界に誘う活動が全国で展開されました。

マリンストアさん主催のヨットینگルームも各地に誕生するようになり、マリブームを反映して女性客を含め多くの人々がルームに参加、各地のヨット教室も例年を上廻る盛況ぶりとなりました。

こうした普及活動の中でもとくに成果をあげているのがボート免許取得推進活動。

先に実施した「免許募集コンクール」には全国より多数のマリンストアさんにご参加いただき、5、6月に開



●マリンシーズン真ただ中、ボート免許教室、大盛況
(ヤマハ東京(株)・新橋店の学科講習風景)

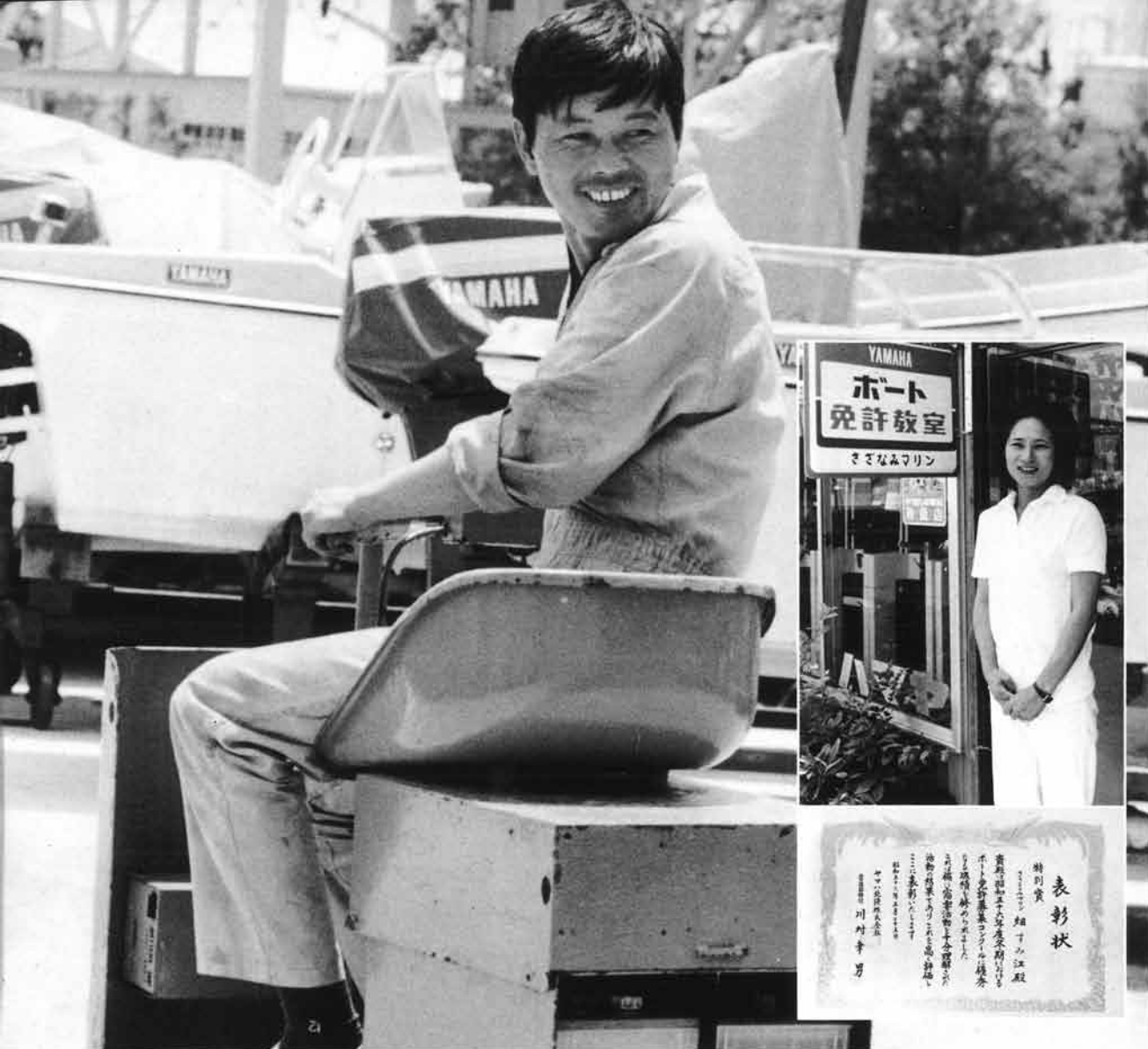
催された「ヤマハボート免許教室」は、昨年同期を7%も上廻る受講生を集めることができました。また、マリンストアさんが募集窓口となって受講された方々の割合も昨年以上のものとなり、今後のユーザー化が期待されます。

ヤマハケロシン船外機・ドライブ船 急テンポで普及

一方、漁業市場ではマリンストアさんとヤマハが一丸となつてのヤマハケロシン船外機及びドライブ船の導入キャンペーンが精力的に展開されました。全国各浜の経済エンジンに対する期待は高く、各機種・各艇種はどこでも好評。ヤマハケロシン船外機とヤマハドライブ船は、いま急テンポで津々浦々に普及しています。



おしどり夫婦。二人三脚でお客さままぶる。



●サービスは任せておけのご主人、畑孝博さん。接客や免許相談は任しておいての奥さま、すみ江さん

さざなみマリンさん(石川県金沢市粟崎町)の奥さまは 免許普及にも大活躍し 海の仲間を増やしています。

加賀百万石の城下町、そして昔ながらの情緒をとどめる能登半島への観光の拠点として旅情をそそる金沢市。しかし、そこは太平洋側の都市と変わらぬ近代都市、町には自動車が増え、町並みも北陸最大の都市にふさわしい。ところで、金沢市では「外車」に乗る人が極めて少ないといいます。

今回の訪問店、さざなみマリンさんへ案内してくれたヤマハ北陸(株)の名畑哲郎社員は、「これには金沢人、いや北陸人に特有の氣質が影響しています。とくに金沢の人は昔から質素で、目立つことをあまり好まないのです。だから、他所の人から見れば、外車を乗り回わしていてもなんら不思議ではない様な人でも乗らないのです」

こうした氣質はマリンレジャーの世界にも現われており、大型のパワーボートを所有する人はまれですが、中・小型の釣りボートの人気はここでも年々高まっています。

さざなみマリンさん(畑 孝博さん経営)はこうした市場の中で5年ほど前に開店し、ご主人の誠実な人柄と確かなサービス力、また、奥さま・すみ江さんの明るい応対ぶりがお客さまたちの心をしっかりとらえ、年々お客さまの数を増やしてきました。そして、最近はとくに奥さまが将来のお客さまづくりにもいえるボート免許の普及活動に積極的に取り組んでおられます。





●大野川に面したボート保管場。約50隻が保管されている



川沿いのマリナー団地

金沢港に注ぐ大野川は、金沢方面の釣りポイントオナーにとって格好のボート保管場所となっています。

さざなみマリンさんは、金沢の中心街より車で約15分、金沢港から1キロほどこの川をさかのぼったところ。金沢方面の多くの釣り天狗はこの川岸から金沢港を経て日本海に繰り出し、春から秋にかけて別表のように多彩なボート釣りを楽しんでいます。

さざなみマリンさんがある一帯はとくにマリナーが多く、あたかもマリナー団地といっ

た感じ。同じような規模のマリナーが4軒、それこそ垣根を接して並んでいます。

「一軒は古くからのマリナーですが、うちを含め他の3軒はオイルショック後の釣りボートブームとともに誕生したお店です。

トナリの店やお客さまたちの様子がお互いに手にとるようにわかり奇妙な感じもしますが、それだけに各お店はそれぞれのお客さまたちと良い関係を保つことに努めているんですよ。」

明るくむかえてくれた奥さまのすみ江さんはこう話します。

コンクリートの継ぎ目

ご主人の畑孝博さんが金沢市内にあったあるマリナーから独立し、奥さまとともにここにお店とボート保管場を構えたのは5年前のこと。

開業の年とその翌年、畑さんはそれぞれ、年中無休でお客さま探しに歩いたといえます。「勤めていたころ、自分を可愛がってくれた方や、気心が通う方たちが、開業するとうちからボートやエンジンを買ってくれました。もちろんその保管もさせていただいたのですが、開業後半年で約10隻を預かるようになりました。しかし、それだけではもちろん店を維持することができませんので、紹介を頼りに、毎日夜遅くまでお客さまの家を訪ねたものでした」

● ● ●
同店の開業当初のこうしご苦労ぶりとお客さまの増え方は、ボート保管場のコンクリートの継ぎ目に見ることができました。

「最初の年は敷地の3分の1(約100坪)だけがコンクリートでした。が翌年にはもうその部分だけでは収容しきれなくなつて、もう100坪にコンクリートを、そして3年目に敷地全体がコンクリートになったわけです」

金沢沖のボートフィッシング

- 4月…カレイ(ヤマガレイ)
- 5月…カレイ(ヤマガレイ)
- 6月…キス、メバル(ハチメ)、イワシ、サバ
- 7月…ハマチ(コソクラ、フクラギ)、アカイカ、アマダイ
- 8月…ハマチ(コソクラ、フクラギ)、アカイカ、キダイ
- 9月…アジ、カマス、イイダコ
- 10月…ヒラメ
- 11月…ヒラメ

● ● ●
10隻から20隻に、20隻から30隻に、そして40隻、50隻と増えていった保管ボート。それらはもちろん全て同店が販売したのですが、より大きなボートへの代替などもあって、いまでは満パイの状態になってしまいました。

● ● ●
同店ではここ2年、年間約120台を販売しています。うちわけは、新艇(船外機を含む)が約3分の2、中古艇(船外機を含む)が3分の1となっています。

● ● ●
同店の保管場は約1年分の販売ボートで満パイになる勘定。そんな訳で、いま同店が最も頭を痛めているのが、保管場所を増やすか否かということです。

● ● ●
「用意したスペースが埋まらないのもたいへんですが、満パイで、売れるお客にも売りにくいというのもつらいですね。」

● ● ●
「店でボートを買ったら、保管してくれるか?」という問い合わせが年間20件ぐらいあるのですが、満パイのためそうした人々に応えることができません。

● ● ●
なるべくひんぱんに利用されるお客さまのボートを優先的に預かり、あまり乗らないような人にはご遠慮願いたいのですが、いったん預かった以上、こちらの方から出てくださいますと言えませんね。かといって、新しく土地を買ったり、借りたりすることもたいへんなことですよ……」

眠るヒマ

● ● ●
ところで、さざなみマリンさんでは、揚降料は無料、保管代も1フィート、5千円(年間)

●クレインと反対側にある店舗及びサービス場、右端に見える2階建の建物はご自宅。上は店内。





●さざなみマリンさんの名物、「釣況日記」。毎日のお客さまの釣果が克明に記録されており、出港する人は必ずこの日記を見て出かけるという。

と、比較的廉価な料金設定となっています。「1万円が相場ということも聞いてはいますが、お客さまの負担をなるべく軽くしてあげたいという気持ちもあり、むずかしいところですね。」

それに、こちらではお客さまが遊ぶ時間がまちまちで、全員の揚降を手伝ってあげようと思つたら、眠るヒマもなくなりそうです。

店は私と家内の二人だけで営業することを基本にしていますので、お客さまたちに揚げ降し方を覚えていただき、自分たちで自由に揚げ降ししてもらうようにしています。

ただ、海上での事故だけは心配ですので、毎年、無線講習会を開き、できる限り参加していただいて、ボートに無線を備えるようにしてもらっています。いまのところは、うちの体勢からこうした料金が妥当だと思つて「います」

看板奥さま

さて、基本的には全国のマリンストアさんと同様、お客さまとなられた方々と良いおつき合いを維持し、紹介によって着実にお客さまを増やし続けてこられたさざなみマリンさんですが、今年はずっと、奥さまのすみ江さんが新しいお客さまづくり、つまりボート免許を多くの人々に取得していただく活動に大活躍されています。

一昨年、自らボート4級免許を取得されている奥さまは、免許相談はお手のもの。受講手続きの仕方や講習の様子についても親切にわかりやすくご案内することができます。

昨年のシーズンオフにヤマハ北陸(株)が実施した「受講生募集・奥さまコンテスト」でも多くの受講者をご案内し、優秀賞に輝いたすみ江さんは、折りしも全国的に実施された「マリンストアさん・受講生募集コンクール」にもさっそく参加。5、6月のコンクール期間中だけでも20名近くの人々を教室にご案内されました。

「これまでも免許普及については、私の仕事と思つて頑張ってきましたが、正直なところ、すでにボート遊びをされている方が免許をとる例が多く、本来の新規需要の開拓、底辺の拡大と意味では、完璧なものとはいえませんでした。」

どこのマリンストアさんも同じでしょうが、これからは、新艇拡販のためにも、下取りした中古艇をいかに上手にさばくかが重要で大切な仕事となつてきます。

これをスムーズに行うためにも、絶えず新しいお客さまを開拓し、ボート免許取得し中古艇の購入し新艇への代替といった仕組みと、いかか流れをつくつておくことが必要です」

「今シーズン中に、最低でもあと20名の方々をヤマハボート免許教室にご案内し、秋には、講師をお招きして店独自の教室も開いてみたい」と張り切られる奥さまに、どのようにして受講生を集めておられるかを最後にうかがってみました。

「普段から親しくおつき合いいただいている、お客さまたちに、てらうことなく、「ボートや釣りに興味を持っている人々を紹介してください」とお願いしています。もちろん、ヤマハさんが用意されたプレミアムのことも同時に伝えていきます。お客さまにご紹介いただいたらさっそくD

さざなみマリンさんは こんなお店です

TEL 0762-37-7378

- 開業—昭和50年1月
- 店舗、サービス場、ボート保管場
総敷地面積は約350坪。店舗兼マリンハウスは15坪。10坪のサービス場がこれに接しています。ボート保管スペースは300坪、保管能力は20フィートクラスにして約50隻。クレーンは3トンを1基。
- 主な販売艇種
レジャー客向けフィッシングボートが100%。17フィートから23フィートクラスが中心で、とくにUシリーズの人氣が高く、最近ではU-23DXのオーナーが増えており、ほとんどが船外機艇。
- お客さまたち
9割は金沢市内の人々。全て釣りが目的で、「年収にして500万円ぐらいの人が中心」とのこと。
- 普及活動
ボート免許教室…以前からお客さまたちをヤマハボート免許教室にご案内してきましたが、昨年度より奥さまがより積極的に勧誘されています。
釣り大会…年2回実施。
釣りおさめ会…釣りシーズンが終る11月の末、同店恒例の釣りおさめ会が催され、多くのお客さまが参加します。釣り大会を楽しんだ後、温泉地に足を伸ばし、ひと足早い忘年会を楽しむもので、同店の名物行事となっています。
- スタッフ
普段はご主人と奥さまのおふたり。夏場の忙しい時期には来店客が手伝ってくれることが多く、とくに馴染み客であるタクシーの運転手さん2名は、非番の日ほとんどマリナーに連れられ、雑用から、魚探の取り付け作業、そして納艇まで手伝ってくれるとのこと。さざなみマリンさんとお客さまたちとの家族的なおつき合いぶりがしのばれます。

●奥さまは船長。さんでもあり、無線技士。自らの体験と知識でお客さまを上手にご案内することができます。



●ヤマハ北陸(株)の普及担当、名畑哲郎社員と次回の教室について話し合うすみ江さん。

Mで免許取得をおすすめし、あとは電話で連絡をとって来店していただき、受講申込手続きについて詳しくご説明し、お手伝いできることはなるべく詳しく差し上げるようにしています。説明をする時、ボート免許は修身免許であること、そして自動車免許にくらべればはるかに短期間、少い費用で取得できることを必ず伝えるようにしておりますが、この言葉によって「よし、取ろう」といわれる方は多くなるようです。

免許のことに限らず、いつもお客さまと気軽に相談し合えるような、人間関係をつくつておくことが最も大切な仕事ではないでしょうか」

- こんな時、お客さまにどう接するか
- こんな時、お客さまになにをしてあげるか

マリンストア繁栄講座



初対面のお客さまとの “お見合い”のしかた

馴染みのお客だと気が張らなくて、いろいろと話がはずむのだが、初めてのお客は買いにきたのかそれとも通りすがりのヒヤカシなのか良くわからない。どんなことを話していいのか見当がつかなくてヨワル。こんな話をマリンストアのサービスマンから聞くことがあります。

いつぼう、ユーザーさんの声を聞いて見ましょう。このあいだバイクに乗っているヤングユーザー、女性ユーザー、アダルトユーザー六十人に街頭インタビューをしたことがあります。(ヤマハニュース一九八一年八月号) いくつかの質問項目のなかで「バイク販売店のイメージは？」という質問にたいして、

●油っぽくてうすよこれている(31歳・会社員)

●もうひとつセンスがなくて、ドロくさいところがある(28歳・主婦)

●修理屋さん(16歳・高校生)

というような回答が見られます。マリンストアさんに関してアンケートをとって見ると、どんな答が返ってくるのでしょうか。業務内容が似ているから、似たような答えが返ってくるのではないのでしょうか。

メカニックの人は、小さいころから一人でコッソコ機械をいじるのが好きで、どちらかというと無口な性

格の人が多いようです。沈黙は金というわけでもないのですが、初対面の人にはツイ照れてしまうのです。

ところで照れてしまうのは、なにも販売店さんだけではありません。相手のお客さんも同じなのです。

これからは、マリンストアにも女性客がふえることでしょう。そこで、こちらから訪問するにせよ、お客が店を訪ねるにせよ、初対面のお客さんとの応待のしかたを身につけておくことは大切です。

* * *

最初に会った人に対しては、こうした初対面のぎこちなさを取り除くことがなよりの仕事になります。いい人だな、会うと楽しいな、と思わせること。つまり、初回訪問では、好意によって結ばれる人間関係をまずつくることを目的とすべきです。

「商品を売るのがオレたちのしごと。商品がよくて、価格が安いとわかればお客は買ってくれるよ」といわれるかも知れません。たしかにその通りなのですが、こちらが説明しなくても商品に対する知識が豊富にあり、適確な商品選びができるお客さまは、実は非常に少ないのです。だからこそ、みなさんが初回訪問を含めて何度かお客さまと会い、商品の良さやマリンレジャーの楽しさを相手にわ

からせていく必要があるのです。

こうした時、お客さまが初対面の気まずさを残したままでいれば、みなさんが一生けんめい説明してみても、「無理やり押しつけられるかも知れない」と感じたり、「調子のいいことをいっているな」と思われてしまいます。これでは何をいっても相手はこちらの言葉を素直に受けとってくれません。

こちらの説明やすすめを素直に、好意をもって聞いていただくためには、まず相手の方と良い人間関係をつくることです。初回訪問はこれから始まる長いおつき合いでの会話をスムーズに走らせるためのルール作りをしにいくのだ、といったつもりで行なった方が良い結果がでるでしょう。

● それでは、一般的にどのようしたら、良い人間関係が作れるか、考えてみましょう。

まず第一は服装です。「外見で人を判断してはいけない」といいますが、初めて会った人に対しては服装で判断するより他にないのです。サツパリとした販売店らしい服装が必要で。

第二は態度です。明るくはつらつとした態度で人に接していれば、相

手の人も明るく前向きな態度で接してくれます。笑顔も必要です。アメリカのある有名なセールスマンは、自宅で朝出がけに笑顔の練習までして出かけていきました。明るい笑顔はお客さまによい印象を与えるばかりでなく、自分の心まで明るく積極的にしてしまう力をもっているのです。

第三は話題です。明るい態度で来た人が暗い話題を出したのではチグハグな印象を与えるでしょう。それだけではなく、明るい楽しい話をしてくれる人はやはりつき合って楽しい人、ということになります。誰れにでも明るく楽しい話題を投げかけられるということは、一朝一夕でできることではありませんが、日頃から、これを意識し、知識や情報を仕込んでおく努力は必要です。自分からそうした話をするには得手でないという人は、紹介者から相手の趣味などを予め聞き出しておき、それについての話から初めるといった方法もあります。また、たとえばその人に釣りポイントをおすすめしようとしているなら、「最近はお〇〇で〇〇がずいぶん釣れていますね」など、最近の釣り状況について話すなど、なにしろ、気軽に楽しく語り合える雰囲気をつくっていくことにとどめましょう。

全国の大公望、待望のビッグイベント



第4回 '81ヤマハ ボートフィッシングコンテスト



今年も9、10月に全国で開催 24名様を南西諸島(屋久島) ビッグフィッシングツアーにご招待

全国のボート釣りファン待望のビッグイベントとなったヤマハ「ボートフィッシングコンテスト」。第4回目となる今年の大会にはさらに多くの釣り自慢が参加。日頃みがきをかけた腕を存分に発揮した熱戦が繰り広げられることでしょう。今年も各地の大会は〈指名魚の部〉と〈重量の部〉の2部門で競技し、各部門の優勝者の中から抽選で24名様を大物の宝庫、南西諸島へご招待いたします。

★お客さま向けの告知チラシを準備しております。ご利用ください。



軽い質問をしてみるのもよい方法です。この場合、初対面ですからあまり深刻な質問をしてはいけません。軽い質問で相手が応えやすいもの、ということが基本です。できれば相手の自慢話を引き出すことができるような質問であれば最高です。私たちは自分の自慢話をよく聞いてくれた人々には親近感を抱きますし、強い第一印象を持つものです。さらに、お互いに同じ意見を持っているとわかっている話題を持ち出せば、それだけでよい人間関係ができる糸口がつかめます。お互いの共通の知人があればよい話題となりま

最後に相手をほめるという方法があります。人をほめるのは苦手だという人がいます。お世辞をいっているようでどうも気恥しいという気がするからです。しかし、相手の人をほめるということは、歯の浮くようなお世辞や心にもないことをいうことではないのです。本心に相手をほめるということは、何かしら相手のよいところを発見し、さらに、そのよさを感じたままに素直に表現することが相手をほめることになるのです。相手をほめるためには相手のよいところに気づかねばなりません。相手のよさを発見するためにはそれなりの注意力が必要です。

「この人の良さはどこにあるのだろう」といつも考え、よさを発見しようと努めながら人に接すれば、きっと相手のよさがわかり、相手を好きになることができます。よくいわれているように、人に好かれようと思つたら、まず自分が相手を好きになることです。

相手を呼ぶのです。この時、相手の顔を見ながら、名前をいうことがコツです。顔を見ながら名前を呼ぶ、これを何回かくり返して行なえば、そのうちに顔を見れば相手の名前が出てくるようになるはず。とくに、次に会った時には、忘れずに相手の名前を呼びかけてください。そのためにはお客さまがいなくなつてからでも名刺やメモの名前を顔を思い出しながら何回か呼んでみると効果的でしょう。このようにして初対面のお客さまとよい人間関係ができれば、顧客化への第一ステップは成功、あとのおつき合い(商談)はぐんとしやすくなります。

の海に



ヤマハケロシン船外機続々と登場

経費節減、省エネの気運が高まる中、発売されたヤマハケロシン船外機・3機種は、いま全国津々浦々でたいへんな話題となり、これに代替したり、台増しをする漁師さんが続出しています。



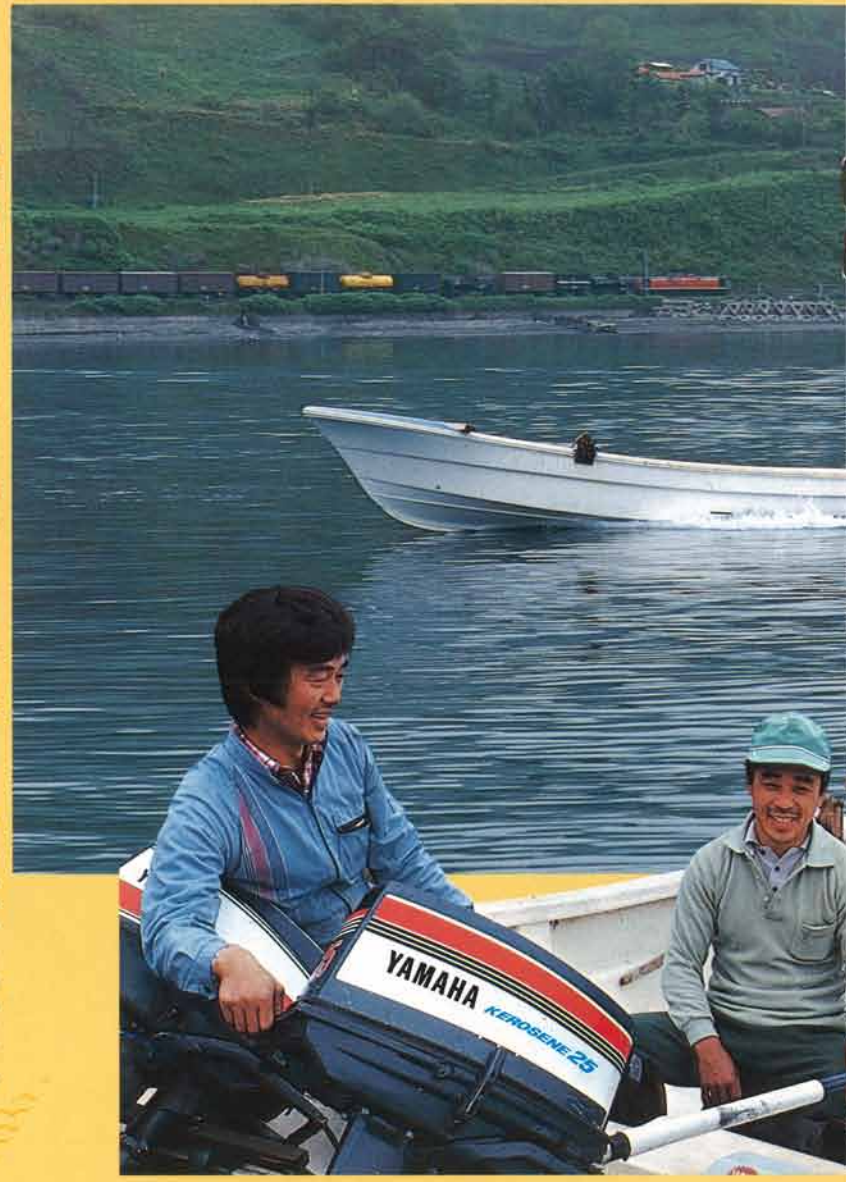
噴火湾のホタテ養殖とケロシン船外機

東側は船外機船が西側はディーゼル漁船が主体

噴火湾のホタテ養殖は、青森県の陸奥湾でその養殖が本格的に開始された数年後（昭和32年頃）に、湾のほぼ中央に当る虻田郡豊浦町でまず手掛けられ、その後、はじめは、湾の東側、そして西側に漁場が伸び、現在では湾内全域で行なわれています。

東側は西側より総的に各漁家の養殖規模が小さく、今日も作業に和船（船外機船）を

ホタテ



浜々はケロシンの話題でもさかきま

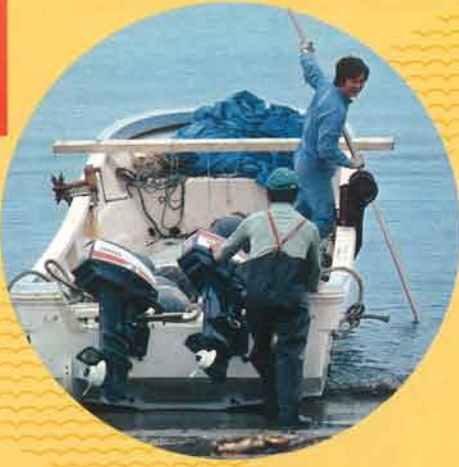
北海道の噴火湾は青森県の陸奥湾とならぶ一大ホタテ養殖漁場ですが、実は、ここでは全国発売に先がけて、昨年の夏より、20名以上の漁師さんたちに25CMKを中心とするヤマハケロシン船外機を使っていたいただきました。

稚貝の採取に、成長に従う籠の入れ替えに、秋からの出荷に、また、成長具合のチェックにと、約一年の間、漁師さんたちによりヤマハケロシン船外機はほとんど毎日使用されました。しばれる冬場も、もちろんです。

「始動性、スピード、力強さなど、どの点においてもガソリン船外機と差がない」「燃費の大幅な節減ができる。ヤマハは素晴らしい船外機をつくった」

一年間使用した漁師さんたちは異口同音に絶賛してくれました。

漁師さんたちがケロシン船外機を使うようになってから、噴火湾の各浜は、「調子はどうか」「どの位走るか」など、ケロシンの話題でもちつきり、ホタテ漁家はこの船外機の発売を待ちわびていました。そして、全国発売されるや25CMKを中心に購入契約者が続出。名浜のマリンストアさんはいまその納品に追われています。



明るさをとりもどした漁場 ヤマハケロシン船外機が代替需要を刺激

噴火湾のホタテ養殖は4年前までは順調に発展し、水揚量・金額ともに伸び続けました。しかし、ホタテが全国的に供給過剰の状態になってきたことと、密殖による斃死、また、貝毒騒ぎによる夏場（5月～11月）の出荷停止などの打撃をこうむり、景気は下降線をたどりはじめ、ここ数年は経費節減のムードが支配的でした。

ところが、昨年より各組合が足並みをそろえて、養殖枚数の規制を実施したことにより斃死率は大幅に減少。各浜に明るさが見えはじめ、景気も上向きつつあるといわれ、こうした折、発売されたヤマハケロシン船外機は代替や台増し需要を大きく刺激するものとなっています。

使用する漁家が主体となっています。

一方、ホタテ養殖の導入がやや遅れた西側の漁場では、ある時期、ホタテブームの波に乗り各漁家が経営規模を拡大したこともあってほとんどの漁家がその作業を漁船により行なっています。

うちもトナリも経済エンジン 快調、好調ヤマハケロシン船外機

前ページでご紹介のように、この夏、噴火湾ではケロシン船外機ブームといった状況を呈しています。

ユーザーさんを訪ね

購入の動機や使用しての感想をうかがってみました。



鍋島さんもホタテ養殖が中心ですが、合間にウニ・アワビの磯見漁、コンブなどの海草とり、刺網、そしてエラコ（釣りのエサとして人気のあるイソメ）採りと多角操業。和船もW-25、W-23と利尻船型の木船をもち、船外機も5台を所有されています。

昨年の夏から、モニターさんとしてW-23用に「15AK」を使っていたとき、このほどW-25用に25CMKを購入されました。

「W-23ではコンブ採りや刺網をするのだが

室蘭市祝津 鍋島 登さん

『トラブルはいち度もナシ。
重荷の時に力があるのにビックリした』

「稚貝採りのシーズンや、籠の入れ替えシー
ホタテひとすじに10年以上の川村さんは、5月に和船を以前使用していたものよりひとまわり大きな「ヤマハW26-AF」に替えるとともに、「25CMK」を購入されました。



間も多勢います。

なにして、酷寒のここ噴火湾でテストされ発売されたのだから大丈夫。みんなにもすすめられているんですが、トナリの佐藤さんも、ついこの間おろしました。あまりいいんで、これなら40馬力ぐらいのものがほしいという仲間も多勢います。

ズンは、ホタテ漁家が一番忙しいとき、つまり船やエンジンを最も使うときで、1日に、浜と沖を4回も5回も往復します。

私の場合、1カ月にドラム缶2本のアブラをたくことがあり、年間で、15、16本を使います。多く使う人は年間20本（ドラム缶）ぐらいになるでしょう。

ガソリンだと、年間、50〜60万円になるわけですが、灯油（ケロシン）ならその半分です。1年間のアブラ代の浮きでもう1台買うことができます。

快調ですよ。エンジンはいつも1回でかかるし、スピードもいままでの船外機（25B）とあまり変わらないですね。

蛇田郡蛇田町 川村喜久雄さん

『1年間の油代の浮きでもう1台買える』



去年から、これに15馬力のケロシン(15A K)を使っている。

いままで、トラブルはいちどもなかった。冬場もイッパツでかかったし、燃費はむしろ良い。スピード性能もまあまあだし、荷をたくさん積んだ時に力があるのにビックリした。

いまは、港中が省燃費ムード。「家から港までクルマでくるのはもったいないから歩いてこようや」なんて冗談も出るほど。

張り切る マリンストアさんたち

「ケロシン船外機は大好評。ここ数年、全体的に「買控えムード」だっただけに、このケロシン船外機を前面に打ち出して、積極的な販売活動を行っています」と語る噴火湾のマリンストアさんたち。



室蘭市寿町 大西マリンサービス
大西 春信さん

ここ室蘭でもホタテ養殖の規模が小さくなり、私も以前ほど船を走らせなくなりましたが、それでも年間にして、ドラム缶6、7本分の燃料を使う。

こんど、またW-25用の1台(注噴火湾ではほとんどの漁師さんが同馬力の2基掛けをし、1台を補機としている)を25馬力のケロシンにしたが、この港ではもう10軒近くがケロシン船外機を使っており、ケロシンにする人は今後ますます増えるでしょう。



蛇田郡蛇田町 小林サイクルショップ
小林 洋一さん



伊達市錦町 安藤商会
安藤 正次さん

ケロシン船外機を、より快調にお使いいただくために…

営業技術課



このほど発売されたヤマハケロシン船外機は、経済性が高いことはもちろん、ガソリン船外機と同様な各種性能を発揮し好評ですが、お客さまたちにこれをより快調にお使いいただくため、そのキャブレターの構造と働き、また、メンテナンス及び取り扱い指導上の留意点をまとめてみました。

お客さまにお伝えください

始動方法

ヤマハケロシン船外機の始動はガソリンにより行なわれるものであるため、始動性はガソリン船外機にくらべ特別にかわるものではありません。

しかし、始動はスターター式となっており、最近のガソリン船外機に多く採用されているチョーク式と異なるため、お客さまたちにその始動方法を教えてあげることが必要です。

①始動時にはスターターレバーを引き、アクセルクリップは閉じて行なうこと
スターター式では始動時にアクセルクリップを開くと、専用通路に流れる空気が少なくなり、濃い混合気をつくれなくなりません。

②25CMKのキャブレターには加速ポンプが付いています

25CMKの始動、とくに寒冷時の始動では、スターターレバーを動作する前にアクセルクリップを1〜2回、全開操作を行なうことでこの加速ポンプを動作させ、シリンダ

ー内にガソリンを送っておくと一層始動しやすくなります。しかし、これを多用するとかえって始動不良の原因になります。

取り扱い上の留意点

ケロシン船外機では始動方法の他に、そのメンテナンス及び取り扱い上、次の様な留意事項がありますので、お客さまにもお教えください。

①オイル混合比はそれぞれ30：1

ケロシン船外機ではオイル混合比がガソリン船外機と異なります。ガソリン、ケロシンとも30：1の混合比での使用が必要となります。

②それぞれの燃料の残量に注意を

ケロシン船外機の燃料タンクにはガソリンが6ℓとケロシンが18ℓ入りますが、ガソリンが無くなると始動ができなくなりま

③ガソリンにケロシンを混ぜないように

ガソリンにケロシンが混じると始動不良となります。オイルと混合したそれぞれの燃料を保管するような場合は、容器をはつきりと分けて保管し、混ぜてしまうことがないように指導してください。

④25CMKでは、運転時以外にアクセルクリップを何回もまわさぬこと

理由については前項の「始動方法」の②で述べたとおりです。ご参考ください。

⑤燃料パイプの接続に注意を

燃料パイプの接続は、ケロシン用とガソ

キャブレターの構造と働き

ガソリン船外機の構造や働きについてはすでに十分ご理解いただいていることと思

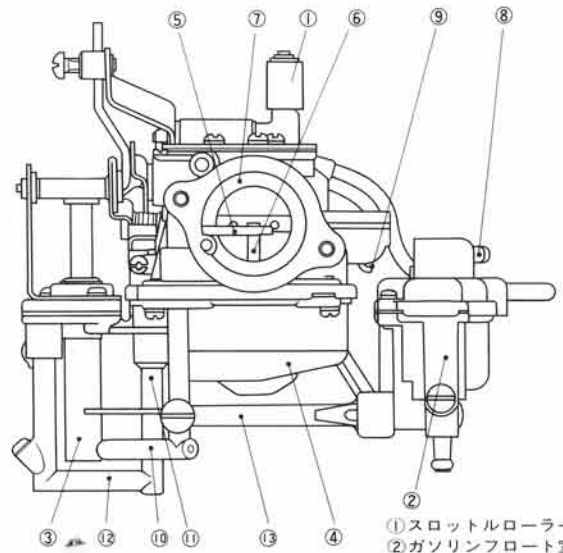
リ用がそれぞれにされています。分解などを行なった後の組立てでは、注意が必要です。

⑥暖気運転を十分に
ガソリンより燃えにくいケロシンを燃料に使うケロシン船外機では、暖気運転は1層必要です。
使用条件などで暖気運転がしにくい場合は、始動後、スターターレバーを使用して航行することにより、加速時のスムーズさを保つことができます。ただし、全開運転となり航行が安定したらスターターレバーを忘れずに戻すこと。これを引いたまま走り続けると、プラグトラブルが発生しやすくなります。

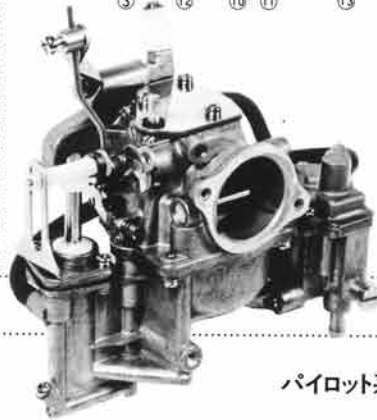
⑦働き
キャブレターの働きを系統別に分けると次のようになることもご存知でしょうが、念のため、まとめてみました。

●構造
構造的にみて、異なっていることは、ガ

[25CMK]



- ① スロットルローラー
- ② ガソリンフロート室
- ③ 加速ポンプ
- ④ ケロシンフロート室
- ⑤ 加速ジェット
- ⑥ メインノズル
- ⑦ ミキシングチャンバー
- ⑧ ガソリン入口
- ⑨ ケロシン入口
- ⑩ 加速ジェット通路
- ⑪ スターター通路
- ⑫ 加速ポンプ入口
- ⑬ ガソリン通路
- ⑭ スターターブランジャー



パイロット系統

スロットルバルブの開度が0〜1/4程度の低速〜中速時に、図中の通路Bを流れる空気の量に応じた混合気を作ります。

アイドリング時は、パイロットジェットよりの燃料とパイロットエアージェットよりの空気の混合気が、パイロットスクリーより流れ、もう少しスロットルスクリーが開くと空気の量は多くなり、それに応じた混合気がパイロットスクリーとバイパスより流れます。

エアージェットから空気を導びいています。

始動系統

エンジン始動時には濃い混合気が必要になりますが、この混合気は二存知のように、チョーク式とスターター式の2つの方法によって得ることができます。

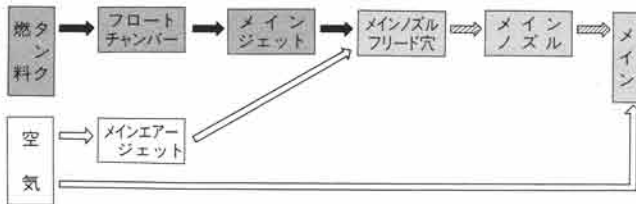
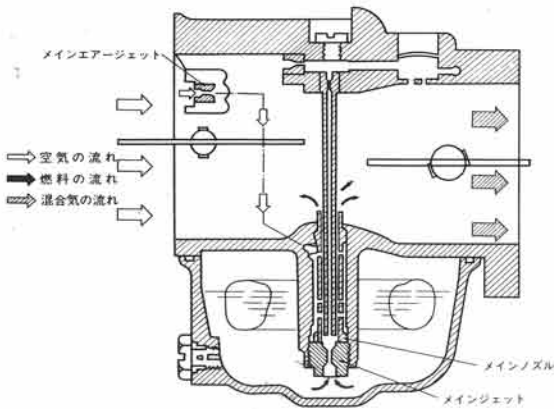
ケロシン船外機のキャブレターはスターター方式となっており、これは始動専用のキャブレターがメインキャブに内蔵されていると考えて良いものです。

メイン系統

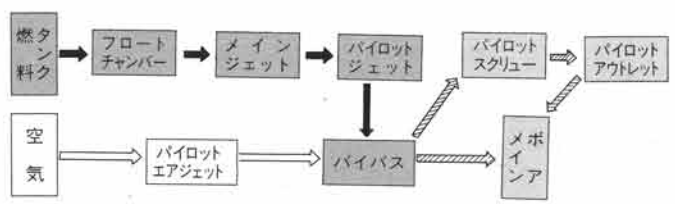
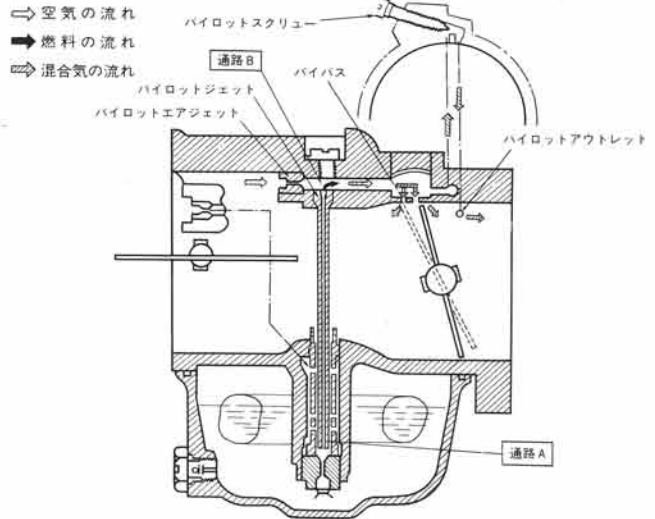
スロットルバルブ開度が約1/4以上の中速〜高速時、つまりベンチュリー部の空気が多い時に、メインノズルより燃料を噴出させるもので、高速になるにつれて混合気が濃くなる傾向をもっていますが、それを補正するためにベンチュリー部の前にメイン

ケロシン船外機のキャブレターは、こうしたキャブレターの働きに応じて、始動系統とパイロット系統にガソリンを、そしてメイン系統にケロシンを使用することにより1個のキャブとして作動させ、スロットルバルブの開度に応じて燃料が自動的に切り替わるものとなっているわけです。

メイン系統図



パイロット系統図





T O P I C S



FISH-24(85A) 「おやじの海」を軽快に走る



香川県の直島でユニークな作詞・作曲活動
を続け、みなさんもご存知の『おやじの海』
(唄・村木健吉)を大ヒットさせた佐義達雄
さんが、このほど、歌手やレコード会社の人
々との打ち合わせの『足』と、趣味の釣りの
ため、FISH-24を進水させました。

お父さんが漁師で子供の頃から船に乗って
育った佐義さんは、香川県高松市のヤマハ特
約店「香川マリン」の朝田博社長と旧知の間
から。

「いま、何不自由なく暮らしている私たちは、
そうした暮らしを築いてくれた親やお年寄り
たちの苦勞を忘れてはならない、といったこ
とをテーマに一貫した唄作りを続けられる佐
義さんには、これまでもボートや和船のお客
さまを数多く紹介していただきました。

そんな佐義さんからこのほど「高松や岡山
へ通うボートが欲しいのだが…」と相談され、
氏が釣りが好きなことも知っておりましたの
で、どちらにも喜んで使っていただけの「F
ISH-24」をおすすめした次第です。

忙しい佐義さんは仕事の打ち合わせなどで
毎日のように高松や岡山へFISH-24を走
らせていますが、たまに息ぬぎのためキスや
ニベ釣りも楽しまれ、たいへんご満足いた
だいています」と朝田社長。

佐義さんの操つるFISH-24は「おやじ
の海」を軽快に走り話題を呼んでいます。

10月9日～11日 第7回 ヤマハヨットウィーク浜名湖



ボートフィッシングコンテストとならぶ秋のビッグイベントと
して注目されるヤマハディンギー各クラスの全日本選手権大会「ヨ
ットウィーク浜名湖」が10月9日から11日までの3日間、開催さ
れます。

第7回目となる今年の大会は、これまでの各クラスに『シー
マーチン』と『シーファルコン』の2つのクラスが加わり、参加艇
は300艇にのぼる見込み。

現在、YSAの各フリートではこの大会に参加する選手の選考
レースがホットに展開され、その後、各支部選手権大会を経て、
各地の代表選手がヤマハマリーナ浜名湖に集い、各クラスに日本
一の座を競うこととなります。

なお、第7回大会のクラス分けとスケジュールは次のとおりで
す。

- 〈クラス〉 ●第9回ヤマハ15全日本選手権大会
●第7回シーホッパー全日本選手権大会
●第3回ミニホッパー全日本選手権大会
●第3回シーラーク全日本選手権大会
●第1回シーマーチン全日本選手権大会
●第1回シーファルコン全日本選手権大会

- 〈スケジュール〉 10月9日(金) 総会、開会式、艇長会議
第1レース、パーティー
10月10日(土) 第2レース、第3レース
10月11日(日) 第4レース、表彰式



奥浜名湖に マリンリゾート"寸座ビラージ"オープン

このほど、ゆったりとくつろいでいただけるホテルにマリーナ
を備えたマリンリゾート"寸座ビラージ"を奥浜名湖にオープン
しました。

白とマリブルーを基調とし、自然光をふんだんに取り入れる
ためのガラス張り設計をずい所に施したホテルと芝生に囲まれた
マリーナはまさに高級、本格的リゾート。レンタルヨットやロー
ボートが用意され、各種マリンスポーツ教室が開催され、マリ
ンスポーツを手軽に楽しんでいただけます。また、四季折々、バラ
エティに富んだ釣りが楽しめる浜名湖のフィッシングベースとし
てご利用いただけることはもちろん、フィッシングボートの手配
からポイントへのご案内もお引きうけいたします。

お客様方にお知らせいただくとともに、みなさまもぜひご利用
ください。

▶お問い合わせ、お申込みは下記へどうぞ
寸座ビラージ・静岡県引佐郡細江町気賀11417の1
☎05352(2)1171

魚探を取り付けるオーナーさんが多くなっています。

FISH-22では3隻に1隻が取り付け

(浜名湖の東海マリナーさん)

浜名湖にある東海マリナーさんには現在、F-22が23隻ありますがそのうち9隻に魚探が取り付けられており、F-24では100%、またバスポート19では7隻のうち4隻に付けられています。

その効用はなんといっても「タナさがし」が確実にできること。

「浜名湖内での釣りでは、いまも「カンと経験が頼り」という方が多いのですが、今切口から遠州灘へ出れば話しは異なります。とくにイサキやアジ釣りでは、特有な魚影をキャッチすることができ、

ビギナーの方でも魚探をつければ釣果がグンと向上します。『魚探で魚の群の動きを確かめ、それを追いかけてこんな釣りに来た』とか『今日はみんなはサバをやっていたが、俺はハマチに釣りを絞って釣ってきた』など、魚探取付艇のオーナーさんたちの自慢話はよく聞かれます。魚探を付けると釣りに乗りに乗ってしまおうという気持ちを多くの方が持っているようですよ」

(同マリナー内、サービス店「和田マリンサービス」の和田さんの話)

RF-600、RF-700、RF-1000 セールスポイント

- 軽量でポータブルタイプの設計です。
- オールトランジスタ回路を内蔵した最新メカで出力は大きく、抜群の測深性能を発揮します。
- 本体にはABS樹脂をはじめ高品質材を使用、堅牢仕上げです。
- 底物から上物までクリアに探知。水面近くの魚群探知に便利な表層除去(STC)装置を組み込んでいます。
- 全機種とも、防水カバー、肩かけベルト、クッションカップ、スベア記録針、発振器、発振器ブラケットを標準装備しています。



RF-600

No.90890-44466 ¥82,000

- 測深範囲(0-40m、20-60m、0-80m、40-120m、切換)
- 記録深度4段階ワンタッチ切換 ● 直線記録式
- 夜間照明 ● 特許外部雑音防止ツマミ付
- 紙送り早・遅2段階切換式 ● グレーライン(海底判別)
- 電源DC-12V ● 表層除去回路(STC)
- 300(W)×159(D)×252(H)



RF-700

No.80890-44467 ¥148,000

- 測深範囲(0-5m、0-10m、0-20m、0-40m、0-80m、0-160m)
- 記録深度6段階ワンタッチ切換 ● 表層除去回路(STC)
- 夜間照明 ● 外部雑音防止ツマミ付 ● 紙送り早・遅2段階切換
- 特許振動防止スタンド ● グレーライン(海底判別)
- 直線記録式 ● 電源DC-12V
- 289(W)×159(D)×254(H)



RF-1000

No.90890-44408 ¥148,000

- 測深範囲(0-60m、50m-100-160m、0-120m、100-220m、200-320m切換)
- 測定範囲(0-40ヒロ、30-70ヒロ、60-100ヒロ、0-80ヒロ、60-140ヒロ、120ヒロ、ヒロ切換)
- 記録深度6段階ワンタッチ切換(発光ダイオードレンジ表示)
- 特許外部雑音防止回路 ● 紙送り早・遅2段階切換
- 夜間照明ライト内蔵 ● 特許振動防止スタンド
- 表層除去回路(STD) ● 直線記録式 ● 電源DC-12V
- ヒロ・メートル換算表付 ● 底魚も見分けられる海底判別回路付
- 380(W)×176(D)×230(H)



- 感度調節受信機の感度は強弱自在、常に鮮明な記録表示ができます。
- 海底判別底魚釣りに効果抜群、底魚と海底をはっきり判別できます。
- 表層除去水面近くの魚群探知に威力を発揮。表層に多いプランクトン・泡などを、表層感度を下げることで、記録から除去、魚だけを表示します。
- 紙送りの切換紙送りは常に経済速度。無駄使いはありません。
- 照明明るい照明で記録紙は夜も鮮やかに浮き出ます。
- マーカー水深レンジの切換、記録の日時場所の区分、魚のいる所までひきかえしたりする時に便利なマーカー。記録紙に直線で表示されます。
- 雑音防止雑音防止つまみで、ノイズの原因による余分な記録はすべて打消。記録はいつも鮮明です。
- 深度切換水深に合わせて、探知レベルをワンタッチ切換、狙う魚群をはっきり記録します。

訂正とお詫び

前号、この欄でご紹介しましたヤマハボートトレーナー「ESCO-7」の標準現金小売価格を、正しくは¥129,000のところ¥192,000と誤って表示いたしました。ここに訂正とお詫びいたします。なお、地区により輸送費を別途いただく場合がありますのであわせてご了承ください。

世界の海に信頼の航跡

いま、津々浦々で大好評のヤマハケロシン船外機は国内販売に先がけて世界各国に数多く輸出され、厳しい使用条件のもとで活躍。ガソリン船外機に劣らぬ優秀な耐久性を実証しています。



スリランカで活躍するヤマハケロシン船外機



ヤマハケロシン船外機

機種名	25CMK	15AK	8BK
全長(%)	600	790	525
全幅(%)	360	345	270
全高(%)	1,075	1,120	1,045
トランサム高さ(%)	430(S)	440(S)	445(S)
	560(L)	570(L)	585(L)
	597(LL)	710(SUL)	635(UL)
			710(SUL)
重量(kg)	45.1kg	37.0kg	27.0kg
最高出力(ps/rpm)	22/5,500	12/5,500	7/5,500
シリンダー数	2	2	2
総排気量(cc)	430	246	165
チェンジ	前進・中立・後進	前進・中立・後進	前進・中立・後進
冷却方式	水冷	水冷	水冷
始動方式	リコイル式 ハンドスタータ	リコイル式 ハンドスタータ	リコイル式 ハンドスタータ
点火方式	フライホイール マグネット	フライホイール マグネット	フライホイール マグネット
混合比	30:1	30:1	30:1
燃料タンク	24ℓ	24ℓ	24ℓ
排気方式	水中排気	水中排気	水中排気